

エピソード
3 「トイレに壁を作ろう」7月

壁作りでは、当初段ボール箱を使おうとしたが、消毒すると濡れて破けてしまうと意見が出て違うものにする。そして、昨年の発表会で使ったプラスチック段ボールを使うことになった。壁の高さはクラスで一番背の高い子どもに合わせて決め、幅などは、実際にトイレに持って行き、測って決めた。壁を立てる段階では、養生テープで固定したが立たず、劇で背景の支えにした素材を保育者が示すと子どもたちはすぐに取り入れ、安定して立つ壁ができた。

3歳児が本当の壁だと思い、手をついて倒してしまう問題が発生した。そこで、「3歳児にも分かるようにするためには？」と話し合い、[①言ったらいい…トイレにずっとおらなあかん（ずっとはいれない）]→[②書いたらいい…字を読めない子がいる（毎回読んであげるのも無理）]→[③写真はどうか…字を読めない子でもわかるね（絵もいいね!）]と、**試行錯誤し取り組んでいった**。その後、「コロナウイルスしんぶん」（右図）ができた。

【学びを支える保育者】

子どもたちの「もっと知りたい」気持ちや、やり遂げたい思いにことん寄り添い支える。問題を解消できず行き詰まる子どもたちに、行動の動機づけになるように新たな素材を示したり、対話や共同作業を大切に支えたりする。



エピソード
4 「アルコール台を作りたい」7月～11月

アルコール消毒が当たり前になっていた7月中旬、「アルコールスプレーのポンプは、いろいろな人が触るから汚いのではないか」「スーパーに、足で踏んだら出るアルコール台があったよ」という**子どもの発言**をきっかけに、「足踏み式アルコールスプレーって作れるんちゃう？」と、**新たな関心事に興味**が深まり、「作りたい」と意欲が湧いてきた。

遠足で足踏み式アルコールスプレーの体験を共有し、園長先生に頼んでアルコール台を購入してもらった。本物を見て研究し、構造を解明したい子どもたちだが、何度試しても、ペダルを踏んでアルコールのポンプを押す動きにつながる仕組みが分からなかった。

家庭での親子の会話や、園から家庭への情報から、保護者も協力し、設計図を引いてくれたり、構造や内部の動きが分かるようになっている模型を作ってくれたりした。その後も**創意工夫**するが、子どもたちだけで解明し作ることは**困難**であった。園長先生にも一緒に共同作業員になってもらい、**みんなで役割分担**をし、協力して作り上げた。

【学びを支える保育者】

「自分たちで作る」というチャレンジを応援しようと、できるかどうか分からないが保育者自身も子どもたちと一緒に考えた。遠足に行く農園に、足踏み式アルコールスプレーがあることを伝えた。



鈴蘭台学園 認定こども園 いぶき幼稚園（兵庫県）

エピソード
5

「本物みたいなマスクを作りたい」10月～11月

マスク屋で、お客さんが喜ぶ、本物みたいなマスクを作りたいと話合った。

マスク1 折り紙のマスク：身近な素材で作ったが、「息ができない」と、問題に気付く。

マスク2 不織布：厚い方がよいのではないかと考えて、不織布を重ねてテープで貼り付けるが、「ゴムがすぐとれる」「テープが顔に当たりかゆい」と意見が出て、ゴムと不織布の付け方が課題になる。

[工夫1] テープを布の間で挟んで皮ふに当たらないように糊で試すが、問題が解決しない。

マスク3 テープを使わないマスク：市販のウレタンマスクの形を見本に不織布で作る。顔に密着せず緩く、不織布1枚は薄すぎて口元が見え、ウィルスが入りマスクの機能を果たせないと気付く。

[工夫2] 不織布を2枚重ねにして作る。まだまだマスクの機能を果たしていないと考え合う。

[工夫3] 市販のマスクを解体し観察する。鼻の部分の針金で、隙間ができないことに気付く。

マスク4 ラッピング用針金を使う（以前プレゼント作りで使用）：本物同様の密着具合になる。

マスク5 ゴムはホチキスで止める。

<問題> ホチキスの針が危ない。両面テープにしても取れやすい。

マスク6 ゴムは穴を空けて通す方法に決まる。

[工夫4] マスクの生産性をあげるため、役割分担をし、流れ作業で必要数のマスクを作り上げる。



マスク1



マスク2



マスク3



マスク6

考察

身の回りの出来事を自分たちの園生活に照らし合わせ、創造力を発揮してトイレの使い方、消毒の仕方、本物みたいなマスクを考え、問題に向き合いながら自分たちで実現する体験をした。トイレ問題では物が立つことの仕組み、アルコール台では足で踏みアルコール液が出る仕組み、マスクでは安全でマスクの機能をもつ仕組みに気づき、作り出す喜びを体験した。また、思いやりの心をもって意欲的に取り組むことで、「濡れると段ボールは弱くなる」「紙は息苦しくなるので不織布にする」「紙は糊で止められるけど、不織布は糊も両面テープもとれやすい」などと因果関係や特徴に気づき、創意工夫する体験の深まりにつながった。